

農山漁村地域整備計画 事後評価調査

計画の概要	計画の名称	岐阜県農山漁村地域農業農村整備計画(草地畜産基盤整備分野)
	計画策定主体	岐阜県
	対象市町村	高山市、飛騨市
	計画期間	平成26年度～平成30年度(5年間)
	計画の目標に対する成果	<p>公共牧場の機能強化、担い手農家の生産基盤及び、家畜保護施設等の整備を行い、飼料自給率の向上、中核的担い手農家の育成、及び、「飛騨牛」のさらなる生産拡大を図るため</p> <p>①地域の基幹的な公共牧場を機能強化することで、肉用牛経営の夏山冬里方式を促進し、畜産農家の労力、生産コストの軽減を図った。</p> <p>②担い手への土地集積及び公共牧場の機能強化による飼料基盤の造成整備を実施することで飼料自給率を向上させ、自給飼料基盤に立脚した経営体の育成、主産地の形成を図った。</p> <p>③畜産生産基盤の整備、飼料自給率の向上による生産コストの低減、公共牧場の機能強化による畜産農家の労力軽減をすることで、新規就農、飼養規模拡大を促進し、担い手の育成と生産基盤の強化を図った。</p> <p>④飼養規模拡大に伴い増加する家畜排泄物を適正に処理し、土地還元することにより、資源循環型農業の確立を図った。</p>
	定量的指標の成果	<p>①新たに草地畜産基盤整備を推進するため、事業実施計画を策定。</p> <p>②公共牧場の預託放牧受入可能頭数の拡大を図る。 60頭→107頭の増。 実績106頭 (達成率99%)</p> <p>③自給飼料生産基盤及び生産性を向上する飼料生産基盤面積の拡大を図る。 草地造成整備改良により 31.8haに拡大。 実績36.1ha (達成率113%)</p> <p>④畜舎整備(乳用牛、肉用牛)により飼養可能頭数の拡大を図る。 飼養可能頭数(肥育豚換算)722.5頭に増。 実績722.5頭 (達成率100%)</p> <p>⑤畜産生産基盤整備等を実施することで、地域の担い手、後継者の育成を図る。 新規就農者:2戸 後継者:1名 実績2戸1名(達成率100%)</p> <p>⑥家畜排せつ物処理施設を増設を図る。 家畜排せつ物処理施設:3棟の増。 実績2棟 (達成率67%)</p>
	対象事業	草地畜産基盤整備事業(畜産担い手総合整備型)
全体事業費 上段:計画 下段:実績	(507,909千円) 504,223千円	

項目	評価項目	評価	評価根拠
評価	交付対象事業の進捗状況	○	いずれの工種においても概ね計画通りの整備が実施できた。
	事業効果の発現状況	○	草地造成整備改良により飼料生産基盤面積の拡大及び放牧頭数の拡大。畜舎整備により飼養頭数の増などそれぞれ事業実施により着実に事業効果は発現されている。
	成果目標の目標値の実現状況	○	いずれの指標においても、概ね目標値を達成できている。
	今後の方針		いずれの工種においても概ね想定した通りの事業効果が発現しており、今後の継続的な事業効果発現のため畜産振興を図っていく。